

# マーメイド通信

逗子市立図書館報  
第 87 号  
2012 年 7 月 1 日発行  
逗子市立図書館  
逗子市逗子 4-2-10  
046 (871) 5998  
〔電話案内サービス〕



## 郷土資料コーナーが変わりました！



### 図書館の郷土資料コーナーをご存知ですか？

図書館の 2 階東側に、県内のガイドブックや逗子ゆかりの作家の作品、逗子市の行政資料や歴史資料などを収集し、納めているコーナーです。開館以来のレイアウトが、4 月より大きく変わりました。

今回は新しい郷土資料コーナーをご案内します。



### どんなふう変わったのでしょうか？

図書館の本は NDC（日本十進分類法）に準じて分類され、並べられています。これまでは郷土資料も一般の本と同じように、まず分野別に分けられ、次に地域別に分けられていました。新しくなった郷土資料コーナーでは、貸出ができる資料と館内閲覧のみの資料に分けられ、館内閲覧だけとなっている郷土資料については、まず地域ごとに分かれ、その中でジャンルごとに分類されて並んでいます。

### 貸出可能な資料

< 県内資料 >

NDC 順に配列。『吾妻鏡』『相模三浦一族』などの歴史書や、鎌倉・横浜・箱根など県内各地のガイドブック、『神奈川の幼稚園ガイド』や『神奈川の民話と伝説』『神奈川鉄道写真集』など、県内の身近な話題に関する本を取りそろえています。

< 逗子ゆかりの作家の作品 >

泉鏡花、徳富蘆花など逗子ゆかりの明治の文豪や、芥川賞・直木賞受賞作家の作品を集めています。

### HPの新聞記事検索

図書館ホームページに神奈川新聞の新聞記事検索（逗子市に関するもの）もアップしました。一度、ご覧ください。





## 郷土資料の見つけ方

例えば、逗子市内の遺跡について知りたいという時、書架に直接、足を運んで探す他に、検索コンピュータ（OPAC）やインターネットで検索をして読みたい本を見つけるという方法もあります。OPACや、図書館ホームページで調べた時、本の情報の中には必ず「請求記号」が記されています。これは、実際の本の背に貼付されている「請求ラベル」と同じ記号です。その本がどこの棚にあるのかを示す「本の住所」とも言えるものです。

では、郷土資料コーナーと郷土資料の請求記号について簡単にご紹介しましょう。

### 請求記号/請求ラベル

郷土資料（閲覧のみ）は茶色の2段ラベル

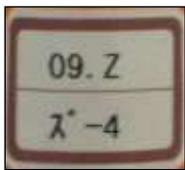
例) 『マーメイド通信—逗子市立図書館報4—』 逗子市立図書館編

分類記号 09. Z → 09 逗子市立図書館 (※)

Z 逗子市

※ 基本的には、NDC（日本十進分類法）分類に従っています。一部、独自に分類されているものがあります。

著者記号ズー4 → 逗子市立図書館編

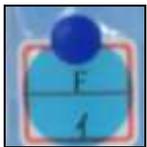


貸出ができる郷土資料（NDC分類）

Z Y 逗子ゆかりの作家

逗子にゆかりのある明治の文豪と、芥川賞・直木賞を受賞した作家の著作。水色と青色の小さなシールが貼ってあります。

例) 『太陽の季節』 石原慎太郎著



P 県内資料

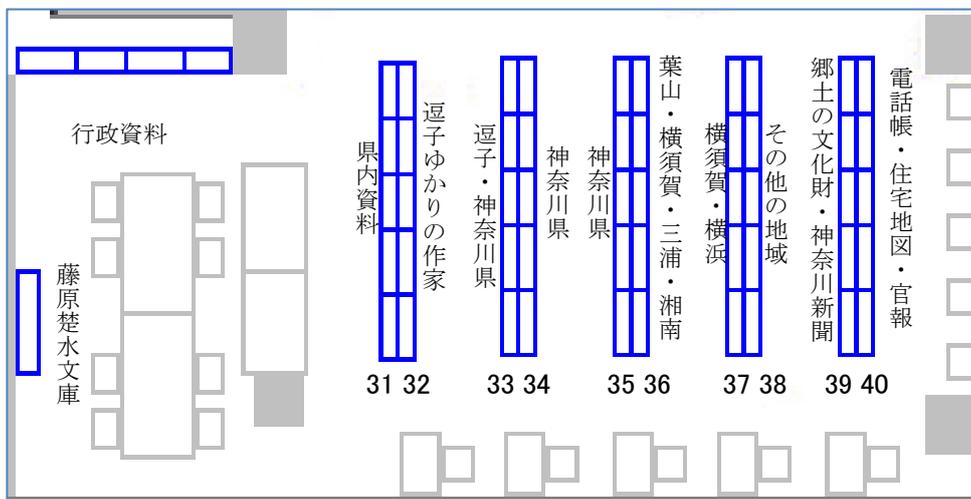
県内のガイドブックや歴史書など貸出可能な資料。

緑色のシールが貼ってあります。

例) 『小田原藩の研究』 内田哲夫著



### 資料の配置図



- 31 P 県内資料
- 32 ZY 逗子ゆかりの作家
- 33 Z 逗子 A 神奈川県
- 34 A 神奈川県
- 35 A 神奈川県
- 36 B 三浦半島 C 湘南  
H 葉山 S 横須賀
- 37 S 横須賀 Y 横浜
- 38 X その他の地域
- 39 ZB 郷土の文化財

資料の探し方やNDC（日本十進分類法）については図書館のホームページでもご案内しています。



# 県内資料のご紹介



『タイムスリップ横須賀線』P 686 吉川文夫著 三宅俊彦著 大正出版

横須賀線の歴史を各駅ごとに紹介するほか、車両不足のためピンチヒッターとして横須賀線電車が走った湘南地区も駅ごとに紹介。横須賀線を走った車両の一世紀等も収録。巻頭にはカラーグラフ横須賀線戦後の色彩と車両を掲載。

著者あとがきに、「正式名称でいう横須賀線の大船―久里浜間はわずか23.9kmの短い線であるが、その秘められた歴史は深く、長い。お寺の多い鎌倉、別荘の多い逗子、軍港の横須賀と、それぞれの街には個性がある」とあるように、年齢を問わず多くの人を楽しめる一冊となっている。

『海辺の憩い―湘南別荘物語―』P 527 しまもとかずや 島本千也著・発行

西は大磯辺りまで、東は茅ヶ崎、藤沢、鎌倉、逗子、葉山までの海岸線に近い地域を湘南と限定し、それぞれの土地の特色や魅力を語っている。

逗子は、徳富蘇峰・蘆花兄弟、海軍士官が住んだ町として、逗子を保養地、別荘地として薦めた陸軍軍医の話や、逗子開成中学高校の由来、尾崎行雄と披露山にあった別荘・風雲閣などが紹介されている。



『日帰り山さんぽ―0泊1日のワイルドな休日―』  
P 291 交通新聞社 (散歩の達人テーマ版MOOK)

「なんちゃってアルプス」として「三浦アルプス」が紹介され、森戸林道から仙元山をめぐるルートなどが見られる。

この散歩の達人シリーズには、他に『鎌倉・江ノ電』や、『東京ブックストア&ブックカフェ案内』などがある。

県内資料の書架には、ガイドブックもたくさん置いてあります。鎌倉や横浜など、近くに遊びに行きたい時にご活用ください。





## としょかんコラム

職員 亀井京子

昔はよく家族で本屋に行ったものだが、子どもの成長とともに、それぞれ自分で本を買うようになった。買うのはみなリーズナブルな文庫本で、書店のカバーもしてもらう。

ある日、久々に家族で本屋に行くと、主人と私と同じ本を手にとってレジに並んでいた。本を書棚に戻しながら、有名な本でもないのに同じ時に同じ本を選んだことがなんだか嬉しく思えた。

数日後、もしやと思い、自宅の本棚に縦横パンパンに詰め込まれている文庫本達のカバーを外していくと、私が図書館で予約待ちしている本が見つかった。なんだ、家にあったのかと思いながら、更に調べてみると、古い本も含め、二冊同じ本があるものが数組でてきた。一抹の不安を感じ、娘たちの本棚を覗いてみると、案の定、装丁が若者向けにリニューアルされた三冊目の太宰や芥川が見つかった。娘たちの成長は嬉しいが、これではあまりに不経済。早速、家族に通達。お互い本を買うときはメールで確認。カバーも不要。

居間のテレビの横に新しい本置き場を作り、娘たちに読んで欲しい本もさりげなく置いておくようになった。家で本の会話も弾み、今のところ家族文庫の評判は上々である。

## 図書館名画座のご案内

毎月、逗子市立図書館主催「図書館名画座映画会」を開催しています

【場所】逗子文化プラザ1階 さざなみホール

【開場】13:30 【開映】14:00

◆入場無料 当日直接会場へお越しください ◆当日先着100人まで

7月24日(火)の上映作品

『白い船』

2002年 日本映画

錦織良成脚本、監督

日本語/日本語字幕

(聴覚障がい者用字幕)



8月28日(火)の上映作品

『キクちゃんとオオカミ』他

2008年 日本映画

やすみ哲夫脚本、総監督

野坂昭如原作

日本語/日本語字幕